

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
神戸医療福祉専門学校 三田校	平成9年3月26日	澤村 誠志	〒669-1313 兵庫県三田市福島501-85 (電話) 079-563-1222				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人神戸滋慶学園	平成4年1月13日	覚野 博夫	〒669-1313 兵庫県神戸市中央区加納町2丁目5番1号 (電話) 078-221-8026				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門課程	理学療法士科	-	平成17年12月9日文科科学大臣告示第170号			
学科の目的	養成目的は、自ら考え行動できる自立した理学療法士を育成することです。理学療法士に必要な知識や技術は何なのかを考え、自分から学習していく習慣を身につけます。また障害者のリハビリテーションのため保健・医療・福祉の場において自分たちは何ができるのかを問いかけ、その解決に向け行動できる資質を身につけます。その過程を通して、実践の場で役に立つ知識や技術を身につけます。						
認定年月日	平成26年3月31日						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	3760時間	1245時間	1095時間	1420時間	0時間	0時間
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人	144人	0人	7人	47人	54人		
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 試験は各学期ごと又は科目終了時に行い、試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格点とする。			
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:8月11日～8月17日 ■冬季:12月26日～1月5日 ■学年末:3月31日		卒業・進級条件	本校所定の課程を修了し、出席日数をみだし、試験に合格した者。			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 3日以上欠席が続いた場合は、担任が保護者に連絡し、理由を把握すると共に、必要であればカウンセラーにつなぎ、原因を把握した上で、適切な対応をしている。		課外活動	■課外活動の種類 (例) 学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 ■サークル活動: 有			
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和3年度卒業生) 病院、リハビリテーション等 ■就職指導内容 就職セミナーの開催・就職対策講座・模擬面接、企業説明会の開催 ■卒業生数 36 人 ■就職希望者数 36 人 ■就職者数 36 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 ・進学者数: 0人 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報) 資格・検定名 種別 受験者数 合格者数 理学療法士 ② 34人 21人 ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例) 認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			
中途退学の現状	■中途退学者 22名 ■中退率 14% 令和3年4月1日時点において、在学者161名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者139名(令和4年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由、進路変更他 ■中退防止・中退者支援のための取組 クラス担任制で、定期、不規則の個人面談を行っている。また学生ひとり一人の状況変化に対し、担任だけでなく、チームで対応している。又、心のケアについては学生相談室を設置し、個別面談を行っている。経済的な理由により学業の継続が困難な学生に対しては、専門の教職員が個別に面談し、日本学生支援機構奨学金等適切な情報提供を行っている。進路変更委員会を設置しており、学生が進路変更を希望した場合、ひとり一人の学生にとって最適な進路変更を提案するようにしている。						
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 神戸医療福祉在校生援助奨学金:突発的な経済的事情で学業継続が困難であり、かつ本校の定める成績基準を満たしている在校生が対象。学費を上限とした額で無利子。(但し、在学中に1回のみ) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象						
第三者による学校評価	評価機関等から第三者評価: 有 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL) 団体名: 一般社団法人 リハビリテーション教育評価機構 受審年月: 令和4年4月1日 ホームページURL: http://jcore.or.jp/						
当該学科のホームページURL	https://www.kmw.ac.jp/gakka/pt/						

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まれません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

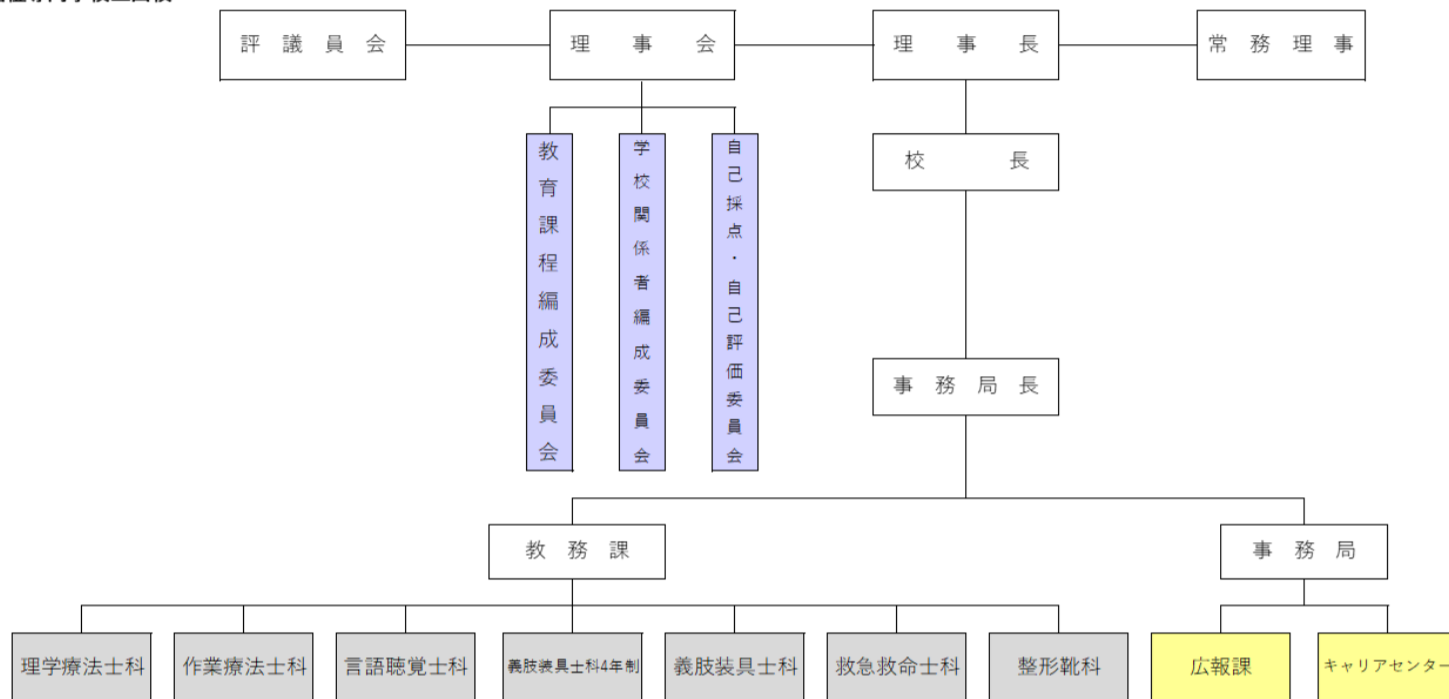
業界との連携について、学生それぞれを配置する臨床実習先の専門職を実習指導者に就任していただき、実習開始前には本校に集合していただいた上で、本校の建学の理念、学科の養成目的、臨床実習の目的を説明させていただき、臨床実習での指導をおこなっていただいています。教育課程編成委員会においても、業界関係者からの意見を、より詳細に教育内容に反映させるように見直している。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本校の教育課程編成委員会は理事会のもとに設置しており、委員長は、委員会で出された意見を集約し理事会に報告している。カリキュラム変更等は評議員会、理事会で決議し教育内容に反映させている。

学校法人神戸滋慶学園  
神戸医療福祉専門学校三田校



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
齋藤 満知子	学校法人 神戸滋慶学園 常務理事	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	
澤村 誠志	神戸医療福祉専門学校三田校 校長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	
今在家 信司	神戸医療福祉専門学校三田校 事務局長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	
岡田 大地	神戸医療福祉専門学校三田校 理学療法士科副学科長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	
山下 真吾	神戸医療福祉専門学校三田校 作業療法士科副学科長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	
今岡 康人	神戸医療福祉専門学校三田校 言語聴覚士科学科長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	
椰木 千代美	神戸医療福祉専門学校三田校 救急救命士科学科長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	
佐々木 伸	神戸医療福祉専門学校三田校 義肢装具士科・義肢装具士科4年制学科長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	
辻野 道子	神戸医療福祉専門学校三田校 整形靴科学科長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	
正木 健一	一般社団法人 兵庫県理学療法士会 財務部部长	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	①
堤 万佐子	兵庫県宝塚市向月町19番5号 医療法人 尚和会 宝塚第一病院	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③
田川 和人	みきやまりハビリテーション病院 療法部主任	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③
中村 太一	医療法人社団薫楓会 緑駿病院 作業療法士室長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③
大和 健一郎	さんだりハビリテーション病院 療法室長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③

門脇 誠一	一般社団法人兵庫県作業療法士会 理事(副会長)	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	①
恩田 光平	兵庫県言語聴覚士会 理事	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	①
吉田 泉	社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団 あわじ荘 支援課	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③
田畑 隆太	緑駿病院 リハビリテーション室 室長 言語聴覚士	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③
太田 宗夫	一般社団法人 全国救急救命士教育施設協議会 顧問	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	①
秋田 健太郎	医療法人沖繩徳洲会 神戸徳洲会病院 救急救命士科	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③
川端 雅生	一般社団法人 日本義肢協会 近畿支部 研修委員	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	①
石原 栄治	公益社団法人 日本義肢装具士協会 副会長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	①
植田 幸一	橋本義肢製作 株式会社 第2装具課 課長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③
藤原 誠文	株式会社 アルフィット 代表取締役	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③
栗林 薫	日本整形靴技術協会 顧問	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	①
眞殿 浩之	川村義肢株式会社 製造部 製靴科 主任技師	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回開催する。(毎年6月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 2021年6月26日(土) 15:00～17:00

第2回 2022年2月12日(土) 14:10～16:10

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

臨床現場における、理学療法士の新人教育の内容を教育に反映できるかどうかをアンケート結果をもとに協議を行う。コミュニケーション論の講義の中に心理学的なものを取り入れ、自分を評価し、他者を受け入れられるような講義体制、医学概論のところで医療倫理の強化

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

臨床実習を行うに適切な器具機械を備え、免許を受けた後5年以上業務に従事し「厚生労働省が指定した臨床実習指導者講習会」または「厚生労働省及び公益財団法人医療 研修推進財団が実施する理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会」を受講した理学療法士が学科で定めた基本方針の下、指導者1人に対して実習生2名程度を担当する体制が可能な施設を選定している。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

1 臨床評価実習

- ① 病院や介護老人施設などで3週間実習指導者の下で行う
- ② 診療チームの一員として加わり、患者様に対して理学療法検査および評価を実践する。
- ③ 理学療法実践を記録し臨床実習指導者から指導を受ける。
- ④ 実践した実習内容について報告する

2 臨床実習

- ① 病院や介護老人施設などで8週間実習指導者の下で行う
- ② 診療チームの一員として加わり、治療計画立案及び治療手段の選択等の臨床場面での実践をし指導者から指導を受ける。
- ③ 理学療法実践を記録し臨床実習指導者から指導を受ける。
- ④ 実践した実習内容について報告する

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
臨床評価実習Ⅰ (検査・測定実習)	診療チームの一員として加わり、2年次までに履修した検査・測定技術を中心に、臨床実習指導者の指導の下で実際に患者様に実施し、その体験を通して自分の技術の不足点を確認する。また患者様の理学療法場面の見学を通して、その疾患の障害像を学習する。	初台リハビリテーション病院、神戸大学医学部附属病院、三田市民病院、宝塚市立病院、兵庫医科大学ささやま医療センターなど(総数70件)
臨床評価実習Ⅱ (評価実習)	診療チームの一員として加わり、臨床実習指導者の指導の下で一般情報収集、検査・測定を実施し、その結果を基に統合と解釈を行い、問題点抽出、目標設定、プログラム立案までを学習する。	初台リハビリテーション病院、神戸大学医学部附属病院、三田市民病院、宝塚市立病院、兵庫医科大学ささやま医療センターなど(総数70件)
臨床実習Ⅰ・Ⅱ 地域臨床実習	診療チームの一員として加わり、臨床実習指導者の指導の下で評価、理学療法プログラムの実施、再評価、目標やプログラムの修正など一連の理学療法過程を学習する。この実習を通して基本的理学療法を習得するとともに、医療専門職としての義務や責任ある態度・行動も体得する。また、理学療法士の勤務する病院・施設の組織をはじめリハビリテーション部門の運営・管理についても学習する。また通所リハや訪問リハを通して地域における役割を学ぶ。	初台リハビリテーション病院、神戸大学医学部附属病院、三田市民病院、宝塚市立病院、兵庫医科大学ささやま医療センターなど(総数70件)

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針  
 学園の定める教員研修規程において、教員の授業内容・教育技法の改善並びにクラス運営方法の向上、マネジメント能力を含む指導力の向上を研修の目的と定めています。また、教員の専門知識・技術の向上の為にそれぞれの専門の学会や業界の研修会への積極的参加を促しています。学科にて教員全てが研修を受けるように、計画している。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「筋電計」(連携企業等: 酒井医療)  
 期間: 令和3年4月27日(火) 対象: 理学療法士  
 内容: 筋電計の使用方法についての勉強

研修名「臨床実習指導者講習会」(連携企業等: 日本理学療法士協会)  
 期間: 令和4年3月5日(土) 対象: 理学療法士  
 内容: 指定規則改正に伴う臨床実習指導要項の変化についての研修

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「滋慶学園 PT分科会」(連携企業等: 一般財団法人 滋慶教育科学研究所)  
 期間: 令和3年4月27日(火) 対象: 理学療法士  
 内容: 国家試験対策について

研修名「滋慶FD研修」(連携企業等: 一般財団法人 滋慶教育科学研究所)  
 期間: 令和3年6月17日(木) 対象: 教員  
 内容: 教員のクラスマネジメントの研修

研修名「学科長対象FDマイクロレベル研修」(連携企業等:一般財団法人 滋慶教育科学研究所)  
期間:令和3年7月6日(火) 対象:教員  
内容:学修の評価とクラスマネジメント

研修名「滋慶2次カウンセリング研修」(連携企業等:一般財団法人 滋慶教育科学研究所)  
期間:令和3年10月28日(木) 対象:教員  
内容:教員のカウンセリングマインドの勉強会

研修名「FDマイクロレベルフォローアップ研修」(連携企業等:一般財団法人 滋慶教育科学研究所)  
期間:令和3年11月16日(火) 対象:教員  
内容:行動規範に関する研修

研修名「滋慶学園イベント研修」(連携企業等:一般財団法人 滋慶教育科学研究所)  
期間:令和3年12月23日(木) 対象:教員  
内容:イベントの開催と広報について

研修名「滋慶FDマイクロアップ研修」(連携企業等:一般財団法人 滋慶教育科学研究所)  
期間:令和4年1月19日(水) 対象:教員  
内容:教員のクラスマネジメントの研修

研修名「一般財団法人 滋慶教育科学研究所」(連携企業等:一般財団法人 滋慶教育科学研究所)  
期間:令和4年2月7日(月) 対象:理学療法士  
内容:国家試験について

### (3)研修等の計画

#### ①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「実習指導者世話人ブラッシュアップ研修」(連携企業等:兵庫県理学療法士協会)  
期間:令和4年5月13日(金) 対象:理学療法士  
内容:世話人の知識・技術向上

研修名「衛生推進者養成講習」(連携企業等:厚生労働省)  
期間:令和4年9月13日(火) 対象:教員  
内容:中小規模事業所の衛生基準向上について

#### ②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「FDマイクロ研修」(連携企業等:一般財団法人 滋慶教育科学研究所)  
期間:令和4年5月25日(水) 対象:教員  
内容:学修の評価とクラスマネジメント

研修名「FDミドル研修」(連携企業等:一般財団法人 滋慶教育科学研究所)  
期間:令和4年7月13日(水) 対象:教員  
内容:学科マネジメントについて

研修名「滋慶teams研修」(連携企業等:一般財団法人 滋慶教育科学研究所)  
期間:令和4年7月14日(木) 対象:教員  
内容:Microsoft one driveの取り扱いについて

研修名「キャリアサポートアンケート勉強会<ビギナー研修>」(連携企業等:一般財団法人 滋慶教育科学研究所)  
期間:令和4年7月16日(土) 対象:教員  
内容:キャリアサポートアンケート勉強会

研修名「滋慶teams研修」(連携企業等:一般財団法人 滋慶教育科学研究所)  
期間:令和4年7月20日(火) 対象:教員  
内容:Microsoft one driveの取り扱いについて

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

卒業生、保護者代表、近隣関係者、高校関係者、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校教職員が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価することを通し、学校運営の改善に生かすことを方針としています。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	(11)国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

中途退学率の改善が必要との指摘から、メンタル面、学習習慣や学習能力面についての学生サポートアンケートを活用し、問題の早期発見や担任による補講契約や面談を実施している。また、カウンセリングやキャリア教育に携わる教職員に対するサポートや研修も実施している。特に理学療法士科については、地域との連携授業を多数取り入れていることについて、今後も今以上の取り組みを期待され、2021年度の理学療法演習に取り組むようにした。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
中村 元樹	理学療法士科卒業生・平島病院 リハビリテーション科	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	卒業生
柿本 香代子	言語聴覚士科4年生の保護者	2022年4月1日～ 2023年3月31日(1年)	保護者代表
川崎 万紀代	学校法人百合学院中学校・高等学校 校長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	高等学校 関係者
田中 加代子	特定非営利活動法人言語障害者の社会参加を支援する会しゃべろーよ 地域活動支援センター	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	企業等委員
正木 健一	兵庫県理学療法士会 財務部 部長/株式会社ヌーベルバーグ 介護ショップ 蓮	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	企業等委員
川端 雅生	一般社団法人 日本義肢協会 近畿支部 研修委員/株川端技術所 代表取締役	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL:

公表時期: 令和4年6月30日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校で毎年作成している事業計画の実行方針では目標(カリキュラムの検証、中途退学防止、卒業後の離職防止等)を具現化するため、学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会の委員の方からの意見をもとに、実行計画を作成している。企業等への具体的な情報提供方法としては、講師会議やホームページを通じて、教育活動その他の学科運営の情報に関する情報の提供を行っています。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	建学の理念、校長名、所在地、連絡先、教育目標、学校の沿革
(2) 各学科等の教育	入学者に関する受け入れ方針及び入学者数、収容定員、在学学生数、教科目標、教科課程、進級・卒業の要件、資格、検定、実績、卒業生数、卒業後の進路、各学科のシラバス
(3) 教職員	教職員数、組織図
(4) キャリア教育・実践的職業教育	教育システム、実習・実技等の取組、就職支援の取組
(5) 様々な教育活動・教育環境	学年暦、学校行事の取組状況、設備紹介
(6) 学生の生活支援	学生支援の取組
(7) 学生納付金・修学支援	学費、学費サポート
(8) 学校の財務	資金収支計算書、事業活動収支計算書、財産目録、貸借対照表、監査報告書
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果、学校関係者評価委員会議事録
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページに明記している。

URL: <http://www.kmw.ac.jp/gakko/joho/>



授業科目等の概要

(医療専門課程 理学療法士科) 令和4年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			心理学	認知、思考、行動などにおける心理の過程を知り、人の内面を見る手がかりとする。	1前	15	1	○			○			○	
2	○			教育学	人間の形成における教育の機能とその具体的方法について学ぶ。	1後	15	1	○			○			○	
3				物理学	理学療法に関連した物理学の基礎的な知識を身につける。	1前	15	1	○			○			○	
4	○			統計学	統計の考え方を身につける。	2後	15	1	○			○			○	
5	○			健康科学	理学療法士に必要な体育学理論を理解し、自身の運動能力を知り、その向上を図るために適切な運動を計画し、実践する。	1通	60	2		○		○		○		
6	○			情報処理Ⅰ	コンピュータの使い方を学ぶ。	1前	30	1		○		○			○	
7	○			情報処理Ⅱ	Word、Excel、Powerpointなどのソフトの基本的な使い方を学び、活用することができる。	1後	30	1		○		○			○	
8	○			英語Ⅰ（読解）	英文の読解能力を身につける。	1後	15	1	○			○			○	
9	○			英語Ⅱ（会話）	実用英会話能力を身につける。	2後	15	1	○			○			○	
10	○			医学用語	医療で使用される用語や、英語の専門用語を学び、実践的に活用できる。	1前	45	2	○			○		○		
11	○			人間関係論	コミュニケーションを通じて人間関係の構築の基本的な考え方とその実践について知識を得る。	1前	30	1	○			○		○		
12	○			解剖学Ⅰ	運動器系、末梢神経系の構造について理解する。生体、人体標本、組織標本の観察や触察を通して人体の構造をマクロ及びミクロレベルで理解する。	1前	75	4	○			○		○		



13	○		解剖学Ⅱ	内臓器系、中枢神経系の構造について理解する。	1後	30	2	○			○			○
14	○		解剖学Ⅲ	運動器系、末梢神経系の構造について、触診を通じて学び、体表解剖の観点で理解する。	1後	45	2		○		○			○
15	○		生理学	人体の機能を筋・神経・呼吸器・循環器・消化器などから学ぶ。	1通	75	4	○			○			○
16	○		運動生理学	運動に関わる生体機能について理解する。	2前	30	2	○			○			○
17	○		運動学	人体に生じる運動を多面的に理解する。	1後	75	4	○			○			○
18	○		運動学実習	運動及び動作分析の基本的な手法を実践できるように学習する。	2前	60	2			○	○			○
19	○		老年学	老いとは何か、高齢者に見られる特徴や疾患について学ぶ。	1後	15	1	○			○			○
20	○		人間発達学	人の生涯を通して身体的、精神的、社会的な発達を理解する。	1後	15	1	○			○			○
21	○		病理学	疾病の原因を理解する。	2後	15	1	○			○			○
22	○		臨床心理学	障害者、患者の心理の理解と対応方法を学ぶ。	2前	30	2	○			○			○
23	○		一般臨床医学	診断学とその他の臨床医学を学ぶ。	2通	15	1	○			○			○
24	○		整形外科学	整形外科学の基本的知識を学ぶ。	2後	30	2	○			○			○
25	○		神経内科学	神経内科学の基本的知識を学ぶ。	2後	15	1	○			○			○
26	○		内科学	内科学の基本的知識を学ぶ。	2後	30	2	○			○			○
27	○		精神医学	精神医学の基本的知識を学ぶ。	2前	15	1	○			○			○

28	○		小児科学	小児科学の基本的知識を学ぶ。	2 前	15	1	○			○	○		
29	○		脳神経外科学	脳神経外科学の基本的知識を学ぶ。	2 後	15	1	○			○	○		
30	○		救急法	基本的救急処置の理論と技術を学ぶ。	2 後	30	2	○			○		○	
31	○		医療関連法規	理学療法に関連する法律と医療を取り巻く関連法規の知識を得る。	1 前	30	2	○			○		○	
32	○		公衆衛生学	疾病や障害の予防に対する方法を理解する。	1 前	15	1	○			○		○	
33	○		リハビリテーション介助論	リハビリテーションを安全に行なうための介助法について学び、実践的に活用できる。	1 前	15	1	○			○		○	
34	○		チーム医療論	リハビリテーションチームとしての理学療法士の関わり方、またチーム内の各専門職の役割について理解し、チーム医療において活用できる。	2 前	30	2	○			○		○	
35	○		理学療法概論	理学療法の全体像を把握し、説明することができる。	1 前	15	1	○			○		○	
36	○		理学療法研究法	研究の手法を理解する。	2 後	15	1	○			○		○	
37	○		卒業研究Ⅰ	研究のプロセスを実践する。	3 後	60	2		○		○		○	
38	○		卒業研究Ⅱ	研究のプロセスを実践する。	4 前	60	2		○		○		○	
39	○		動作観察・分析Ⅰ	動作を観察する初歩の観点を知る。	1 後	15	1	○			○		○	
40	○		動作観察・分析Ⅱ	動作観察・分析を学び、評価につなげる過程を理解する。	2 後	60	4	○			○			○
41	○		動作観察・分析Ⅲ	臨床をイメージした動作の評価及び分析を理解する。	3 前	30	2	○			○		○	
42	○		海外セミナー	海外の理学療法の現状を学ぶ。	3 前	15	1	○					○	○

43	○		文献調査法	文献の収集方法と批判的読解の方法について学ぶ。	3前	15	1	○			○	○		
44	○		高齢者リハビリテーション学	老年生理学に基づいて、高齢者に対するリハビリテーションを知る。	3前	15	1	○			○	○		
45	○		理学療法評価学Ⅰ	評価の概論を学び、主な検査を習得する。	1後	60	2		○		○	○		
46	○		理学療法評価学Ⅱ	各疾患ごとの検査法を学び、障害を把握する方法を身につける。	2前	60	2		○		○	○		
47	○		理学療法評価学実習Ⅰ	障害を把握するための技術を習得する。	2後	45	1			○	○	○		
48	○		病態運動学	障害者の動作分析を習得し、それを機能障害と関連づけて解釈する。	3前	60	2		○		○	○		
49	○		理学療法評価学実習Ⅱ	疾病や障害を想定しての評価技術を習得する。	3前	45	1			○	○	○		
50	○		日常生活活動学	日常生活活動に関する基本的知識を学ぶ。	1前	15	1	○			○	○		
51	○		日常生活活動学実習	日常生活活動に関する技術を習得する。	1通	45	1			○	○	○		
52	○		運動療法学	基本的な運動療法の知識を理解する。	2前	60	4	○			○	○		
53	○		運動療法学実習	基本的な運動療法の技術を習得する。	2後	45	1			○	○	○		
54	○		物理療法学	物理療法の基礎知識を理解する。	2前	15	1	○			○	○		
55	○		物理療法学実習	物理療法の技術を習得する。	2後	45	1			○	○	○		
56	○		義肢装具学	義肢装具に関する基本的知識を学ぶ。	2前	30	2	○			○		○	
57	○		義肢装具学実習	義肢装具に関する技術を習得する。	2前	30	1			○	○		○	

58	○		理学療法技術論Ⅰ	整形外科疾患に対する理学療法を学ぶ。	3通	60	2		○		○		○	○	○
59	○		理学療法技術論Ⅱ	中枢神経疾患に対する理学療法を学ぶ。	3後	60	2		○		○		○	○	○
60	○		理学療法技術論Ⅲ	呼吸循環器疾患に対する理学療法を学ぶ。	3後	60	2		○		○			○	○
61	○		理学療法技術論Ⅳ	小児期疾患に対する理学療法を学ぶ。	3前	30	1		○		○		○		
62	○		理学療法技術論Ⅴ	難病とスポーツ障害に対する理学療法を学ぶ。	3後	30	1		○		○		○		
63	○		理学療法技術論Ⅵ	がん、ウィメンズヘルス、糖尿病に対する理学療法を理解する。	3後	30	1		○		○			○	
64	○		徒手理学療法学	有痛性疾患の評価と治療の技術を学ぶ。	4後	15	1	○			○			○	○
65	○		地域理学療法学	地域社会を基盤としたリハビリテーション活動の中で、理学療法士の役割を学ぶ。	3後	30	2	○			○		○		
66	○		ケアマネジメント論	ケアマネジメントの方法を学ぶ。	3後	30	2	○			○			○	
67	○		地域理学療法学実習	地域理学療法の実際を学ぶ。	4前	30	1			○	○		○	○	○
68	○		理学療法管理学	理学療法の業務における管理法について理解する。	4後	30	2	○			○			○	
69	○		臨床評価実習Ⅰ	学校で学んだ検査測定技術を臨床の場で体験する。	2後	90	2			○		○		○	○
70	○		臨床評価実習Ⅱ	学内で学んだ評価課程を臨床の場で体験する。	3後	135	3			○		○		○	○
71	○		臨床実習Ⅰ	理学療法の全過程を臨床で体験し、習得する。	4通	405	9			○		○		○	○
72	○		臨床実習Ⅱ	理学療法の全過程を臨床で体験し、習得する。	4通	405	9			○		○		○	○

73	○		地域臨床実習	地域における理学療法を臨床で体験し、習得する。	4通	40	1			○		○		○	○
74	○		理学療法総合演習Ⅰ	理学療法士として臨床現場に立つ上で必要な医療倫理について理解する。	1通	30	1		○		○		○		○
75	○		理学療法総合演習Ⅱ	理学療法士として臨床現場で扱う医療情報の管理について理解する。	2前	60	2		○		○		○		○
76	○		理学療法総合演習Ⅲ	具体的な症例を通して評価から治療のプロセスを学ぶ。	3通	240	8		○		○		○	○	○
77	○		理学療法総合演習Ⅳ	理学療法思考を総合的に検討し、症例を通して評価から治療のプロセスを理解し、実践につなげることができる。	4前	30	1		○		○		○		
78	○		レクリエーション指導法	各種レクリエーション及びその指導法を学ぶ。	3前	15	1	○			○			○	
79	○		理学療法特論	最新の理学療法について知識や技術を学ぶ。	4後	30	2	○			○		○		
80	○		関連職種連携	他の専門職と連携して症例へのアプローチの方法を学ぶ。	3後	15	1	○			○		○		○
合計					80科目	3760単位時間(148単位)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
本校所定の課程を修了し、出席日数をみたし、試験に合格した者。 授業に出席し、成績の評価において60点以上の場合に科目が認定される。	1学年の学期区分	2期	
	1学期の授業期間	20週	

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。